

清流の息吹を訪ねて

産卵後のオイカワの行方

く入れ替わり立ち代わりの新たな戦い

このコーナーは、市内山ノ内
で釣りに関するアドバイス
などを行う(株)フィッシュナビ
の代表で、「魚の専門家」
の八鳥洋二さんからご寄稿
いただいています。

熱き戦いを終え、産卵を終えたオイカワたちは、その場から完全に姿を消します。水際でそれらの亡骸を確認できたことから、おそらくこれで生涯を終えるのだと私は推測しております（オイカワの寿命は野生下で3〜4年）。どんなに美しく強くても、全盛期でいられるのはほんのひと時。まるで花の命のようです。



少し色づきはじめて新たな成魚(オス)たち。成熟を控えながらも、まだ若々しさが残る

このオイカワの繁殖期は、梅雨に入る頃から夏の終わり頃までの約3カ月間続き、次から次へと成熟を迎えます。そして現在も、新たなオスたちが戦い、メスとの恋の駆け引きをしているところです。かつては、他人事のように見ていた若魚も、今度は自ら婚姻色を発するようになり、あと数週間もすればこの舞台の主役になっていくことでしょう。

さて、一般的に魚の繁殖は、短い期間にかつ一斉で行われることが多い、私が皆さんに観察情報としてお伝えする場合、過去の経験則をもとにお話していますが、自然相手であるゆえ、ドンピシャで当てるのはなかなか難しいです。しかし、オイカワは繁殖期が長いいため、私が現場で確認した後、生きた情報としてお届けできるので、何とも観察者想いの魚だなと親しみを感じます。